

行政システムこそ最高レベルで

GovTech 東京業務執行理事兼 CTO 井原正博

GovTech東京（GTT）では最近理事兼CTO（最高技術責任者）になりました。具体的には、

期経営計画を発表しましたが、この3年間でGTTとして技術的に何を目指すべきかを示す役割もあります。

かもしません。ですが、良いシステムがあり「コピーしたので数百万円で導入できる」となれば、現状を変えて

例えば、国が取り組んでい

これまでCIOとして主に東京都市自治体の共同化の推進などを所管しているデジタルサービス基盤開発本部を所管していましたが、現在はCIOとして、テクノロジータ

——GTTは現在、民間のシステムを区市町村に共同調達するといった調整役のイメージですが、中期経営計画では技術開発力を強める考えです。

でも使いたいと思える。自治体にも使いたいと思える。自治体にはシステムを提供する際のプロセスを変えていきたい。今後は人口が減って行政職員の数も減り、システムが分ける人材が足りない、予算もいくことは十分あり得ると思

データの活用を所管するテクノロジー本部を所掌している。また10月に3力年の中

自分たちでシステムを作っ
て全国の自治体に提供してい
国でたくさん出てくる時代と
デジタルの強みと
TTの立ち位置も変わってき

少ないという自治体が日本全
います。 — 技術者集団としてのG

行政のシステムに要件が共通している部分が多いので、本来はそれぞれの自治体で、それぞれが作るのが必要はなく、一つ作ります。

この「ヒールカブ館」というのは、自分たちでシステムを作ることができれば、改善が必要になったときにすぐに内部

てコピーして使えば良いはず
——行政だと民業圧迫とな
りそうですが、G-TTが行う
際の民間との関係は、
「来年度予算で
対応しよう」では遅いので

十分にメリットはありますが、移行負担も考えると、既存の仕組みを変えてまでシステムを載せ替えるのは難しい民間とのパートナー開発と自分で

そこはシステム開発の全てを僕たちが担っていくことができるかという部分も含めて整理が必要だと思いますが、QOL、QOSを高めていく体制づくりに力を入れることが自分に期待されている部分だと思っています。

そこはシステム開発の全てを僕たちが担っていくことができるかという部分も含めて整理が必要だと思いますが、QOL、QOSを高めていく体制づくりに力を入れることが自分に期待されている部分だと思っています。

すよね。日々改善して都民の

——井原さんは民間企業で開発部門をリードしていた経験も長いですが、そこでの組織づくりは。ました。

エンジニアが1500人く——実際に組織づくりはと
らいの大きな会社で開発部門 うでしたか。

は、開発しやすい環境を作りたかったけれど、自分の力では変えようがない面も正直ありました。自分の部下も70人

きたい企業にするという目標を立てたら、社長に「低い。世界で一番にしろ」と言われました。確かに日本を見るか

の責任者をしていたときには 日本では 一番エンジニアが働

ぐらいいましたが、全然その人たちを幸せにできていないなって思っただです。そこで今度は開発者が数人のベンチャーにいて、組織を作ることから始めました。前の組織

ではエンジニアの人たちを幸
せにできなかったの、今回
結局、世界一のレベルには
ならなかったんですけど、業

ま
ッ
ワ

1974年生まれ。クックノムを営む。ライオン



末さひろ＝
開発部長や
などを歴任

いはら・ふれ。ヤフー・ド技術部長

界では日本一レベルぐらいになりました。誰でも知ってるエンジンがゴロゴロいて、みんなどの組織にいてもC
えはボーナスを増やせば多少
はモチベーションが上がりま
すが、すぐに下がる。やりたい
という思いの強い人を集め

TO（最高技術責任者）になる人たちがそろった。そこ作ったり、逆にルールを取っ

は。——組織づくりのポイント
——GTTに参画を決めた

いろいろあるんですけど、
一つ上げるとすれば、やる気がある人を集めて邪魔をしな
いことです。やる気がある人
を集めても邪魔をすれば、や
る気がなくなる。やる気は内
理には。
GTT設立の話を耳にする
機会があり、もともと行政も
面白そうだと思っっていたの
ですが、当時は会社を経営し
ていたので、キーインタツッ

なるものだから、こちらから
与えることはできません。例
手という感じでした。きつ
けとしては二つあって、一つ

目は会社を経営していたのですが、社長に向いていないの

で誰かに渡したいと思ってい
たところ、適任者がいたこと
そして二つ目が、今年1月の

能登半島地震で被災したことです。
——被災者になったとは。

妻の実家に帰っていたのですが、2階で寝ると大きな揺れが来て、電気とインターネットが完全に喪失しました。家は倒壊しなかったんで

すが、余震がずっと続いていたので近くの集会所に避難しました。食料もあつたし暖も取れたので、避難生活としてTTTの技術力が高くて、「ち

は恵まれていました。が、電気
も通信もない。一次情報を出
つて思ってもらえる組織に

す人たちも被災しているの
で、詳しい情報も入らない。
そんな時にスターリンクみた
いな衛星通信が各避難所にあ
れば、被災地からの情報は入
る。——中期経営計画の達成に
向け、G-TTや行政職員にメ

らなくても日本中の人が集めた情報は知れたんじゃないかと、行政のデジタルサービスってもっと頑張れることがあるんじゃないかと感じました。

ツセージを。

G-TTの職員には、まずここで働く職員を幸せにしたいと伝えています。働いている人が幸せじゃなければ、誰かを幸せにできるわけがない。

——GTTに来て、感じる区市町村や都庁の職員が抱える課題に寄り添い、解決する強みは。

やはり顧客である1400 一助になればと思っています。万人の都民が既にいるというす。

ことですね。逆に言えば、それが怖いところでもあって、
 その人たちは僕たちがダメな
 員には、今GTTが登ろうと
 している山はめちゃくちゃ喜

システムを出すとそれを使わ
されることになる。だからこ
えなにかと思っています。行
政職員の「都民のため」とい

皆が使う行政のシステムこそ日本最高レベルであるべきだと思つてます。民間に負けている場合じゃない。そのた
うマインドは非常に高いと感
じています。皆さんの都民に
奉仕するという思いに対し
て、僕たちはきちんと成果を
出したいと思っています。

いはら・まさひろ=1974年生まれ。ヤフー開発部長やクックパッド技術部長などを歴任。ライフワークの一つ「走ること」は3年以内に世界最高峰のトレイルランレース「UTMB（ウルトラトレイル・デュ・モンブラン）」出場の目標を掲げて達成。最近では久しぶりにパソコンを自作したが、「ハイスペックすぎて仕事で使えず、ゲームに没頭してます。あと気分転換はお酒と阪神タイガース」

えはボーナスを増やせば多少はモチベーションが上がりますが、すぐに下がる。やりたいという思いの強い人を集め、邪魔をしないためのルールを作ったり、逆にルールを取っ払ったりする。気持ちよく働かさずすれば絶対成果を出すので、そのための仕組みづくりを日々行っていました。

——GTTに参画を決めた理由は。

GTT設立の話を目にする機会があり、もともと行政も面白そうだと思っただけなんです。当時は会社を経営していたので、キープリンタチという感じでした。きっかりとしては二つあって、一つ目は会社を経営していたのですが、社長に向いていないので誰かに渡したいと思っていましたところ、適任者がいたこと。そして二つ目が、今年1月の能登半島地震で被災したことです。

——被災者になったとは。

妻の実家に帰っていたのですが、2階で寝ると大きな揺れが来て、電気とインターネットが完全に喪失しました。家は倒壊しなかったんですが、余震がずっと続いていたので近くの集会所に避難しました。食料もあったし暖も取れたので、避難生活としては恵まれていましたが、電気も通信もない。一次情報を出す人たちも被災しているの

で、詳しい情報も入らない。そんな時にスターリンクみたいな衛星通信が各避難所があれば、被災地からの情報は入らなくても日本中の人が集めた情報は知れたんじゃないかと、行政のデジタルサービスってもっと頑張れることがあるんじゃないかと感じました。

——GTTに来て、感じる強みは。

やはり顧客である1400万人の都民が既にあるということですね。逆に言えば、それが怖いところでもあって、その人たちは僕たちがダメなシステムを出すとそれを使わされることになる。だからこそ質の良いサービスを出さなきゃいけない。

皆が使った行政のシステムこそ日本最高レベルであるべきだと思うんです。民間に負けている場合じゃない。そのために自分たちで開発力を高めることが重要だと思っています。どんなIT企業よりもGTTの技術力が高くて、「あいつらめっちゃくちゃすげえ」って思ってもらえる組織にしたいし、高いレベルの行政公共サービスを都民の皆さんに届けている状態を目指したい。

——中期経営計画の達成に向けて、GTTや行政職員にメッセージを。

GTTの職員には、まずここで働く職員を幸せにしたいのと伝えていきます。働いている人が幸せじゃなければ、誰かを幸せにできるわけがない。区市町村や都庁の職員が抱える課題に寄り添い、解決する一助になればと思っています。

そして、都や区市町村の職員には、今GTTが登ろうとしている山はめちゃくちゃ辛いですが、一緒に歩んでもらえないかと思っています。行政職員の「都民のため」というマインドは非常に高いと感じています。皆さんの都民に対して、僕たちはきちんと成果を出したいと思っています。